

テーマ：『 情報機器を活用した理科・生活科学習の充実 』

厚木市立 飯山小学校

Tel. 046-241--2851 担当： 西川 克行



図1 生活科でサツマイモづくり、収穫の場面（1年生）



図2 「飯山に棲む野鳥」の写真パネルをギャラリーに展示



図3 農家の方のご協力で米づくり、稲刈り（5年生）



図4 学校近くの小鮎川で、環境学習（4年生）

■実践内容：

本校のある地域は、野山や田んぼ、畑や小鮎川など恵まれた自然環境にある。地域の特徴やよさを生かしながら、豊かな自然とかかわる体験活動を大切にしてきた。

生活科や理科等の授業で、近くの畑を借用し、全校でサツマイモ栽培をしてきた。1年生は保護者と一緒に収穫を楽しみ、さつまいも料理やリースづくりを行った。5年生は、地域の農家の方のご協力により、米づくり体験を行った。児童のアイデアで収穫前のかかしづくりや餅つきまで発展させることができた。4年生は、学校近くを流れる小鮎川をフィールドに環境学習を実施した。水中生物、川の水の汚れ、河川のごみなどをテーマにした児童が多かった。

■実践成果：

ねらいを明確にした体験活動を工夫することにより、児童が好奇心や探求心をもって主体的に学習に取り組むことができた。また、その際に、写真映像等を取り、学習の前後に活用することにより、学習に見通しを立てることや発表学習、振り返りの学習を深めることができた。

■実践ポイント：

体験的な学習は、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる上で有効である。限られた学校の教育活動の中で、より豊かな学びとなるよう、指導内容や指導の時期、合科的・関連的な指導、関係機関との連携など効果を高めるための工夫、指導の充実を図りたい。